

東京と日本の空襲、そして現在

アジア・太平洋戦争の末期、1945年3月10日。

「東京大空襲」と呼ばれる、2時間半余りの空襲によって、東京の下町一帯は焼け野原となり、約10万人もの人びとが犠牲になりました。アメリカ軍による無差別爆撃でした。

戦争中、東京はおよそ100回の空襲を受けましたが、その一方で日本も満州事変以降は中国などへの空襲を行っていました。

空襲のなかで多くの人びとが家財を焼かれ、傷つき、命を失いました。多くは、女性、子ども、高齢者などの民間人でした。

世界に目を向ければ、今も空襲は続いています。

〈世界の子どもの平和像と母子像〉

センターの入り口にふたつの像があります。

世界の子どもの平和像（東京）は、空襲や原爆について学んだ東京の中・高校生たちが、募金やデザインをつくり、建立にたずさわりました。

母子像は江東区に暮らす母親たちの平和への思いが込められています。



岡村光哲さん制作

※アメリカをはじめ、広島、京都など、各地でも子どもの平和像がつくられています。



河野新さん制作

おもなイベント

☆ 3月10日前後 東京大空襲を語り継ぐつどい

… 空襲体験者の証言、1年の活動の振り返りなど

☆ 5月5日 「世界の子どもの平和像」のつどい

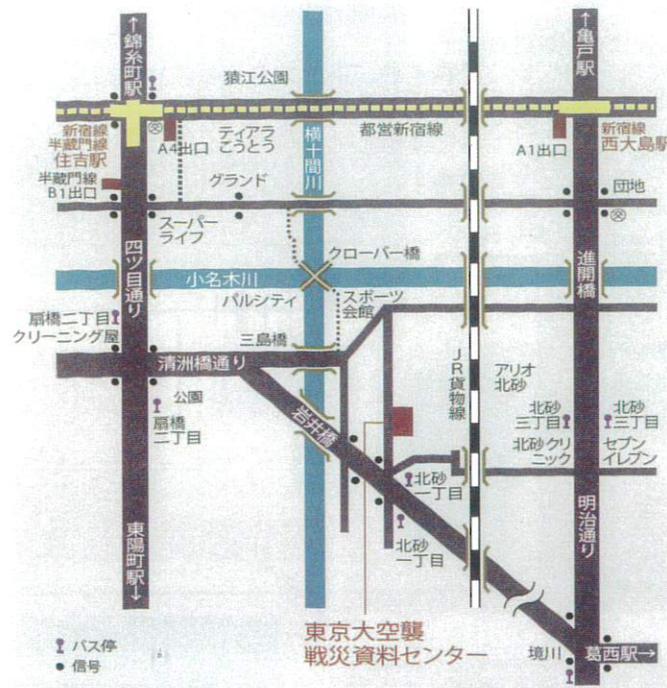
☆ 8月15日前後1週間ほど 夏休み特別企画

… 自由研究、地域や市民のみなさまとの交流の場

☆ 最新情報などくわしくは当センターのホームページ、Twitterでお知らせします。どうぞご覧ください。

交通案内

- ▼ JR「秋葉原駅」中央改札口を出て左の2番バス乗場から、都バス《葛西駅行き》（秋26）で35分、「北砂1丁目」下車、徒歩2分
- ▼ 東京メトロ半蔵門線、都営地下鉄新宿線「住吉駅」B1出口から徒歩18分
- ※ 清洲橋通りの「岩井橋東詰め交差点」、岩井橋クリニックの隣です。



開館要項

休館日 月曜日（月曜日が休日の場合は原則開館し、火曜日休館）、年末年始

☆ 3月9日、10日は曜日にかかわらず開館

開館時間 10時30分～16時

入館料 一般：300円 中・高校生：200円

小学生：100円 未就学児・障がい者：無料

☆ 障がい者の付き添いの方（1人まで）も無料です。

☆ 10名以上の団体の方は、事前にご連絡ください。

☆ 車椅子用のエレベーター・トイレ・障がい者用駐車場（1台分）があります。一般の駐車場はありません。

東京大空襲・戦災資料センター

〒136-0073 東京都江東区北砂1丁目5-4

TEL 03-5857-5631 FAX 03-5683-3326

ホームページ <https://tokyo-sensai.net/>

(2022年8月印刷)



未来へと語り継ぐ 戦争の惨禍と、平和への願い

公益財団法人 政治経済研究所 付属

東京大空襲・戦災資料センター

The Center of the Tokyo Air Raids and War Damage

館長 吉田 裕



1945年9月、江東区北砂・大島周辺（アメリカ軍撮影）

現在の東京大空襲・戦災資料センターの位置